



【特集】

1,000万円診断士になりたい!

第1章 統計からみる

1,000万円の稼ぎ方

第2章 アンケートからみる

1,000万円診断士の実態

第3章 稼げる診断士が語る

1,000万円への王道

櫻田 登紀子さん/中尾 友和さん/山下 益明さん

第4章 ベテラン診断士が語る

理想の収入構成と大切なこと

高澤 彰さん

第5章 総括

1,000万円までのステップ

—高額業務の獲得方法

独立診断士のステップアップ

本誌2017年11月号の特集「3,000万診断士の群像」で、高収入を稼ぐ診断士の存在とポイントはわかった。だが、多くの独立診断士としては、まずは年商1,000万円超えが壁となる。

本特集では、年商1,000万円以上の独立診断士にアンケートやインタビューを実施。

その実態分析から、

独立診断士がステップアップするための

戦略・工夫のポイントを明らかにする。

安藤 準/屋代 勝幸/仲光 和之/古澤 登志美

特集

1,000万円診断士になりたい! 独立診断士のステップアップ

第1章 統計からみる

1,000万円の稼ぎ方

安藤 準
中小企業診断士

1 1,000万円という数字

1,000万円—収入の一つのラインであり、世間でも関心を集めるフレーズです。中小企業診断士にとっても、それは例外ではありません。これから独立を考えている人、あるいはすでに独立している人にとって、ステップアップのラインとして目標となる数字ではないでしょうか。

日本国内の平均給与所得は正規社員494万円となっています(平成29年度国税庁調べ)。1,000万円の収入は、一般的には高額所得者と言えるでしょう。ただし、そもそも独立を考えている企業内診断士の方には能力の高い人が多く、大手企業に勤務して1,000万円以上の収入を得ている人もいます。

したがって、独立を考えるときに、「年に1,000万円は稼ぎたい」と希望する人は多いかもしれませんが。あるいは、高収入を目指すうえで、それを一つの通過点と考える野心的な人もいます。

いずれにしても、独立診断士の収入は仕事の内容や能力に大きく依存しますので、収入の実態は人それぞれです。さらに、他の士業と比較して業務内容が多様であるため、稼ぐ方法について一概にはいえません。

しかし、筆者自身が独立しての実感としては、中小企業診断士にとって1,000万円という数字は「簡単ではなく、少し工夫が必要なライン」だと思います。こんな話をすると、少しがっかりする人もいるかもしれませんが、一般的な中小企業診断士の報酬を相場で積み上げると、800~900万円くらいで頭打ちになっているのが現状です。

つまり、ただ普通に仕事をしているだけでは、1,000万円を超えるのは少し難しいと考えられます。一方で、1,000万円はもとより3,000万円以上稼ぐ中小企業診断士がいることも事実です。これらの人たちはどのようにして、その「工夫が必要なライン」を超えているのでしょうか。

本特集では、実際に1,000万円以上を稼いでいる中小企業診断士はどのように仕事をし、ステップアップしてきたのかについてフォーカスし、その実態を調査しました。これから独立しようとしている人や、独立して間もない人、あるいは独立して数年が経つが伸び悩んでいる人たちの参考になれば幸いです。

なお、個人所得としては「年収」と表現したほうがわかりやすいのですが、独立診断士は経費範囲が曖昧であり、売上として管理するケースも多く、調査が難しいのが実態です。そのため、今回は「年商」として考えることにします。